

止め、意味づけを助けるかという共通課題も示されました。さらに、誰もが「存在そのものに価値がある」と感じられる看護者を育てたいという思いも再確認されました。

会議を通し、「あなたたは高価で尊い」という御言葉を学生へ、そして患者へ手渡していく使命を新たにしたい一日となりました。次回

第67回学校代表者協議会

(2025年11月7日(金)～8日(土)於青山学院)

ライシャワー学園の取り組み

日本聾話学校(きこえの学校
ライシャワー学園) 理事長

水口 洋



1. 教育同盟各校の支援に支えられて
1983年に結成された日本聾話学校賛助会は教育同盟の連帯意識の現れだ。本校は105年間、祈りと支援により存続した奇跡の学校だ。学園の存在がキリスト教教育の成果と言える。

2. 日本聾話学校の教育の実践
本校は1920年にライシャワー宣教師夫妻が創設した。娘のフエリシアが聴覚に障害を負ったことで、夫妻は聾者の教育を通して日本に仕えるよう導かれ、個々の可能性を伸ばす独自の聾教育を推進した。公的支援が得られぬ中で理想の教育を目指したが、篤い祈りにより不思議に呼び寄せられた、時代に相応しい支援者たちにより先進的教育が可能となった。現在は心の声を聴き合う聴覚を生かした人間教育を実践している。

3. この教育に触れて
ここにはキリスト教教育の本質がある。聴覚障害を持つ子の言語獲得過程の中にキリスト教教育の原点を見る。愛する家族が発する声を脳内で音に変換することで、子どもの内側から言葉が生まれる。また対話が生み出す幸いがある。教師たちは言葉の重みを理解し丁寧な対応を行うが、そこに言葉を通して教育の本質が実態を伴って現れる。

4. 抱える構造的課題
課題の第一は補聴器の進化で軽度難聴児が普通教育を受けるようになったこと、また、手話を言語とみなす認知が広がり、健常者との対話がインクルーシブ教育の成果として賞賛され、結果として聴覚主導の専門的教育から難聴児を遠ざけてい

行うことを表明した。ライシャワーの名を冠し「祈る姿勢」を明確にした。共働き家庭の子どもの受け入れのため、預かり保育と放課後デイサービスを開始し、保護者と一緒に子供を育てる姿勢を打ち出した。本校に在籍しない難聴児へのケアを行い、広く難聴児教育に貢献したい。さらに高齢者を含め幅広い難聴者支援のため耳鼻科診療所を開設し地域全体の聞こえの環境を提

供したい。

5. 急がれる改革
本校の改革が始まっている。まず「きこえの学校ライシャワー学園」への校名変更だ。名は体を表す。難聴児に特化した専門教育を在価値(Being)が尊重されている。生産性や成果重視のDoingの価値観に飲み込まれず、逆転現象として自己肯定感の高い子どもたちが育つ。さらに子どもが主体的に動き出すのを待つ姿勢があり、それを検証する討論が日常的に行われている。

6. キリスト教教育の実践
本校の存在意義は、小さな働きだからこそ見えるキリスト教教育の理念を同盟各校に示すことだ。キリスト教教育の原点確認の機会の提供が本校の存在価値だ。「公開講座」や個別の見学機会も設けたい。更なる祈りとご支援をいただけたら幸いだ。



学びに集中できる環境を整備

広島女学院大学の昨日・今日・明日

広島女学院大学 学長 二谷 高康

私たちは人生の中で数知れない多くの事柄に出会います。繰り返し起こる習慣的な事柄は「日常的な出来事」と呼び、めったに起こらない印象的な体験は「特別な出来事」と捉えています。例えば、毎日の通勤は日常的で

事との遭遇を「奇蹟」と名付け、神の御業と理解してきました。今回の広島女学院大学の設置者移管に至る道程はまさに「奇蹟」としか表現できない極めて稀な出来事だったのです。

広島女学院大学の源流は1886年に設立された広島女学会に遡りますが、米国南メソジスト教会の支援を受け、所謂「ミッションスクール」として発展を続けました。1932年には女子専門学校が開設され、まさに広島



大学キャンパス



8月6日の原爆投下の惨事を乗り越えて、1949年には広島で最初の私立大学に認可され、市内東部の山間に英文学部英文学科の女子大が発足したのです。その後は人文系と家政学系の二学部体制となり、大幅な拡張をせず「昭和」を乗り越えました。が、「平成」に入ると学部学科の人数に陰りが見え、同時に少子化と女子大離れの影響で経営が徐々に難しくな

まで3か月というスピードでした。2025年2月末に文部科学省へ設置者変更の申請を行い、9月5日に文科大臣の認可が下り一連の作業は終了しました。神のみ旨は私どもの思いと違っていますが、常に希望をそなえてく

青山学院150年とキャンパス・ミニストリー

青山学院宗教部長 伊藤 悟

1. 青山学院の校風「LAOYAMA MIRAI VISION」として整理しました。サーバント・リーダー育成を軸とする「3Goals & 3Basics」を全学院で共有し、それを支える環境整備にも取り組み、児童・生徒・学生らの成長を促す居場所作りを推進しています。

2. 青山学院大学のキャンパス・ミニストリー
大学のキャンパス・ミニストリーは、礼拝、キリスト教科目、宗教活動の三本柱から成っています。二つのキャンパスで毎日礼拝が行われ、「キリスト教概論」は全学生必修(4単位)で、関連科目も全学生向けに多数開講されています。聖歌隊やゴスペルクワイア、ハンドベルクワイア、青山キリスト教学生会に属する約200名の学生と、全国のキリスト教学校からの推薦入学生約250名がキャンパス・ミニストリーの中核を担っています。



開講されています。聖歌隊やゴスペルクワイア、ハンドベルクワイア、青山キリスト教学生会に属する約200名の学生と、全国のキリスト教学校からの推薦入学生約250名がキャンパス・ミニストリーの中核を担っています。

2024年、宗教センター施設を大幅にリニューアルし、集会室や祈祷室、音楽室などを備え、多様な活動が可能になりました。教職員の奉仕チームも活躍し、キャンパス・ミニストリーは「学院理念を具現化するストラテジー」として展開されています。

3. キャンパス・ミニストリーの変遷
青山学院のキリスト教教育は、戦後改革や学園紛争、神学科廃止、ガバナンス問題など多くの課題に採れながら整えられてきました。1980年代以降、制度改革が進み、キャンパス配置や宗教主任の整備、諸規則の制定、キリスト者推薦制度の導入などによってその基盤が強化されました。

青山学院が育てたいのは、神の前に真実に生きようとする姿勢、他者に仕える心、弱さに寄り添う感性、そして自らの使命を世界の中に見いだす態度です。これらの「記憶の質」を大切にしながら、今後もサーバント・リーダーの育成に努めてまいります。



協議会当日の資料より

青山学院ミュージアム



スや校舎の変遷を振り返ります。

3. ミュージアムシアター

創立以来の学院の歴史を伝える映像を上映しています。



青山学院の歴史 展示室

青山学院ミュージアムは2025年5月8日、青山学院創立150周年記念事業の一環として開館しました。場所は青山学院青山キャンパスの間島記念館1・2階にあります。青山学院資料センターが1978年の設置以来担ってきた、青山学院やキリスト教に関する資料の収集・保存・展示機能を発展させ、「建学の精神の殿堂」となることを目指しています。



間島記念室

「サイレントライト―静かな光―」という展示コンセプトのもと、1階に7つの展示室を設けています。

1. サーバント・リーダールーム

青山学院を支えてきた教員・宣教師・校友たちを紹介します。

2. 間島記念室

1929年の間島記念館建設に貢献した校友・間島弟彦を記念するとともに、キャンパ

4. キリスト教史

青山学院の源流であるメソジスト教会や日本におけるキリスト教の歴史

7. 企画展示室

特別展・企画展を定期的に開催しています。

2025年11月29日(土)、国立京都国際会館において同志社創立150周年記念式・献茶式を執り行い、ご来賓や同志社教職員(退職者を含む)、卒業生など約1,600人の参加がありました。

同志社には現在、同志社大学、同志社女子大学という2つの大学、同志社中学校・高等学校、香里中学校・高等学校、女子中学校・高等学校、国際中学校・高等学校という4つの中学・高等学校、同志社小学校と国際学院初等部という2つの小学校、それに同志社幼稚園が繋がり、それぞれの教育活動を展開しています。学生、生徒、児童、園児総数は42,500名余り、1,750名を超える専任教職員が在職し、良心教育に従事しています。

同志社の徽章は3つの正三角形からなっています。これは土地、或いは国土を意味するアッシリア文字を圖案

同志社 創立150周年記念 記念式・献茶式



挨拶 小原克博氏 (同志社大学長)



記念式辞 八田英一氏 (同志社総長・理事長)



献茶 千宗室氏 (裏千家第16代家元)



祝辞 西原廉太氏 (教育同盟理事長)



・理事長は式辞の中で「同志社は節目の150周年を迎えました。これは単なる通過点ではなく、過去を振り返り、現在を見つめ直し、未来への展望を定める好機に違いありません。知育・德育・体育の三位一体の



記念式第2部の冒頭で、新島アニメーションの上映を行いました。同志社創設者の新島襄のような先駆者がいたことを学園内外のより多くの人に広く、

深く知っていただきたいと願い、10分3章立てのアニメーション

キリスト教 Q&A

説教って何ですか？

関西学院高等部 宗教主事 松隈 協



キリスト教主義学校では、礼拝で説教が語られる。説教、宣教、奨励、閑話、チャペルトーク、学校によって表現は様々だろう。説教は牧師しか語れないものなの？そもそも未信者が語ってもいいものなの？これらの答えは、その学校のバックグラウンドにある教派、学校の歴史、学校の状況によって違う。私は摩擦を避けるために「メッセージ」という言葉を使っている。外国語に逃げただけという批判は甘んじて受けなければならない。

説教とは「語り終わった時に、みことば(聖書の言葉)だけが残るもの」。この言葉は、聖書科教師になったばかりの私が上司から言われたものだ。以前、このことを実感する礼拝があった。私が勤める関西学院高等部では、信者・未信者に関わらず、一年に一回、説教(メッセージ)をしなければならない。関西学院中高大を卒業し、母校の教師になった未信者の先生

が、「求めなさい。そうすれば、与えられる」(マタイによる福音書7章7節)という聖書の言葉がどれだけ嫌いかという説教をした。中学時代はこういう理由でこの聖書の言葉が嫌いだった、高校時代は、大学時代は、教師になってからは、と永遠に続く。壇上にいる私は「この説教、これからどうなるのか」とヒヤヒヤした。持ち時間の大半を嫌いな理由に費やしたその先生は最後にこう言われた。「それでも僕はこの聖書の言葉から逃げられない。ずっとこの聖書の言葉が僕を追いかけてくる」。聖書科の授業では、学期中に心に残った説教の感想を提出させることがあるが、その学期、生徒たちの心に響いたのはダントツでこの先生の説教だった。それは聖書との格闘が感じられたからだし、「求めなさい。そうすれば、与えられる」という聖書の言葉だけが残ったからだろう。

もう一つ、私の上司はこうも言われた。「説教は聞く人の尻尾を切ってあげるもの。それまで一人ひとりが引きずっている尻尾を切ってあげるのが説教だ」。生徒も教職員も日々いっぱいになっている。いっぱいいっぱい歩みのただ中だからこそ、聖書の言葉に尻尾を切ってもらわないと先へは進めない。

「みことばだけが残るもの」「尻尾を切ってあげるもの」、私の説教はどうだろうか、30年以上経った今でも問いかけられている。

2026年の本欄は関西地区加盟学校3校(関西学院、名古屋学院大学、啓明学院)の先生方にご担当いただきます。ご期待ください。



◆左のQRコードから同志社創立150周年記念式・献茶式の様子(お知らせ欄)より)及び新島襄アニメーションをご覧ください。

『二百年の夢を見た。』を制作しました。 (同志社創立150周年記念事業事務局)

事務局 だより

学校代表者協議会では、時代の激しい変革と各校の懸命な対応が報告されました。先行きが不透明な今こそ、キリスト教学校校の存在意義と「喜び」を再確認したいと願います。小さく弱い者に目を注ぐ群れである時、真実の光が見えてくるはず

<行事予定> ※予定は状況により変わることがあります。	
1/16(金)~17(土)	第68回小学校代表者研修会 (西南学院小学校/長崎市内視察)
6/5(金)~6(土)	第114回定時総会 (沖縄キリスト教学院)
11/6(金)~7(土)	第68回学校代表者協議会 (聖ステパノ学園)

歩みの上に豊かな祝福がありますように。 事務局長